

大学の世界展開力強化事業(2022年度選定) 神戸大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度2022年度)

世界的課題解決に向けた工学系グローバル人材育成のための国際共修/協働学修プログラム

【交流推進事業の概要】

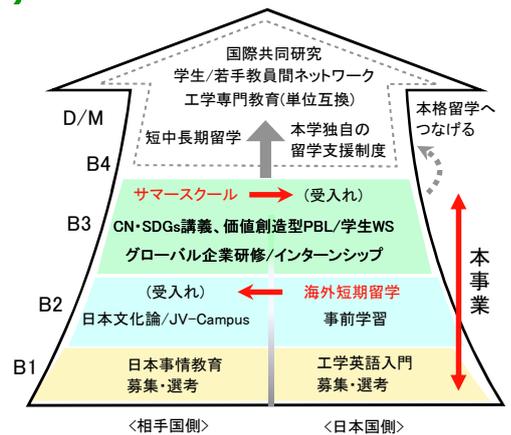


カーボンニュートラルなど世界的な課題解決に向けて主体的に考え行動できる

複眼的視点とリーダーシップをもつ次世代工学系グローバル人材



- (1) 学部3年間に渡る継続的な国際共修プログラム提供による国際交流意識とグローバル視点の定着化
- (2) 海外での工学系講義に必要な工学英語入門受講を必修化
- (3) 世界的課題解決に向けた国際協働学習プログラムの開催
 - ・グローバル企業見学研修/国際インターンシップ
 - ・価値創造型PBL/学生ワークショップ
 - ・CN、SDGsに関する工学講義、震災経験に基づく防災・減災講義



【交流プログラムの概要】

神戸大学とロイヤルメルボルン工科大学(豪州)を中核とし、ジョージア工科大学(米国)、マヒドン大学(タイ)との連携により実施する。学部1~3年生の複数年次に渡って国際共修場を継続的に提供することで、工学系学生のグローバル視点や異文化適応能力を定着化させ、カーボンニュートラルなどの世界的課題解決に向けて主体的に考え行動できる「複眼的視点とリーダーシップをもつ次世代工学系グローバル人材」の養成を目指す。

【本事業で養成する人材像】

工学者・技術者としての専門知識や語学力はもちろんのこと、エネルギー・鉱物資源のサプライチェーンにおける自国の国際的立ち位置を理解し、価値観を共有する国と双方共に発展していくために必要な異文化理解・複眼的な視点を身につけた工学系グローバルリーダーを育成する。

【本事業の特徴】

複数年次に渡って国際共修場を継続的に提供し、学生のグローバル視点を定着化させる。また各国学生が参加するグローバル企業研修/インターンシップ、学生ワークショップなどの国際協同学習体験プログラムを実施し、異文化のみならず、各国の産業構造や科学政策の違いを相互理解する場を提供する。工学者としてグローバル視点から自国の立ち位置を理解し、価値観を共有する国々と共に発展するための協調関係、連携強化が不可欠であることに気づきを持たせるプログラムとする。

【交流予定人数】

		2022	2023	2024	2025	2026
派遣	実際に渡航する学生	0	20	20	22	23
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	15	0	0	0	0
	実渡航とオンライン受講を行う学生	0	0	0	0	0
受入	実際に渡航する学生	0	0	0	0	0
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	20	0	0	0	0
	実渡航とオンライン受講を行う学生	0	20	20	20	20